

介護「愛の劇場」

七尾七子



両親、祖母と4人暮らし。最近、介護保険に関心がある。

介護太郎



市役所で介護保険を担当。制度改正への対応に最近疲れ気味。

●介護保険が目指すもの：

ふーん「安心の老後」か。お決まりのフレーズね。ホントに安心できるの？

え？フレーズの質問ですか？厳しいですね。安心してもらいたいと思っています。

●そもそも介護保険って何？

はい。高齢になると、どなたでも体が思うように動かなくなったり、場合によっては認知症になってしまったりして、介護が必要になってきますよね。

うん。

そんな時に、介護保険の認定を受けると、在宅でも、施設でも、必要なサービスが受けられるというものです。

じゃあ、介護保険制度って

のがなかったときはどうだったのよ？

市町村が、それぞれホームヘルプサービスや、デイサービスなどを行っていました。ただし、利用者の身体の状態だけでなく、家族状況や世帯収入などもサービス利用に影響していました。

それじゃ、サービスを受けたくても受けることができない人が出るじゃない。

はい、介護保険が一番に目指すものは「利用者本位」「利用者の選択に基づく」サービスの利用です。要介護認定を受ければ、誰でも介護サービスを受けることができるというのが、介護保険制度の最大の目的です。

●課題もたくさんあります

必要になったら、介護認定を受けて、サービスを利用する。それでいいじゃない。

はい。でも、平成12年に介護保険制度がスタートしてから5年、課題もたくさん出てきています。

何よそれ？

はい。まず、要介護状態が比較的軽い方が増えています。そして、その方の状態が、思

うように改善していないというところが挙げられます。

あれ？利用者が選択できるようになって、要介護認定さえ受ければサービスが使えて、それでいいんじゃないの？

ちがいます！いきなり怒らないでよ！びっくりするじゃない。

あ、すいません。必要な方にサービスを受けていた、たくさんは大切です。でも、サービスを受けることで、今の状態を維持する、できれば状態が良くなっていくことが大きな目的なんです。

そりゃそうよね。うちのおばあちゃんも、いつまでも元気でいてもらいたいもの。

必要なときには使え、使うことで身体の状態の維持・改善に役立つことが介護保険の本来的な目的です。特に軽度の介護認定者の方には、状態の維持・改善につながるサービスを導入します。

あつ、それから近所のおばあちゃんも「デイサービスにもっと行きたいけど、家からは遠いし、週1回で我慢しているのよ」と言っていたわよ。あ！何でそれを早く言わないんですか！

だからすぐに怒らないでよ！そういう人がいたって言うてるの！

たびたびすみません…。そうなんです、それも5年たつて現れた大きな課題です。

どうするの？

住み慣れた、身近な地域で利用することができるように、地域ごとに、介護サービス基盤の整備を進めていきます。

●これからの介護保険は…

うん。介護が必要になったら使えて、使ったら身体の状態が維持できたり、少しでも良くなったり。あとは、家の近くでサービスができれば良いと、こういうことが。

だいたい合っていますね。何より大切なことは、いつまでも元気で、自立した生活、自分の事は自分でできることだと思いますか？

まあ、それにこしたことはないわね。

そうですね。でも、歳をとって、思うように身体が動かなくなったり、認知症になったりした時に、サポートするのが介護保険の役割です。